

伊具高等学校

校訓 質実剛健 穩健着実



1 基本データ

創立：大正9年
課程・学科：全日制課程・総合学科
生徒数：154名
所在地：〒981-2153
伊具郡丸森町字雁歌51
TEL：0224-72-2020
FAX：0224-72-1322

ホームページアドレス：
<https://igu.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
igu@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR東北本線 槻木駅から阿武隈急行で丸森駅下車 徒歩30分
あるいは、丸森駅から丸森町民バスで10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

夢を形にできる場所

本校は単位制の総合学科の高校です。農学・機械・情報・福祉の4系列で多様な選択科目があり、充実したキャリア教育が受けられます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は大正9年4月17日郡立宮城県伊具農蚕学校として創立され、この日を開校記念日としています。昭和22年4月1日に宮城県伊具農蚕高等学校とされ、昭和38年4月1日、宮城県伊具高等学校と校名を変更、平成11年4月1日、総合学科に改編しました。令和7年には創立105周年を迎える、地域に根ざした伝統校です。

丸森町は、山は緑が深く、阿武隈川が中央を流れて、清流にはヤマメが遊ぶという、自然に囲まれた町です。最近では都会からのITターンによる移住者も増え、町が活性化してきています。そのような中で生徒はのびのびと高校生活を楽しみ、学習に部活動に、自己研鑽に余念の無い生活を送っています。

施設として、実習棟は総合実習棟・第1実習棟・第2実習棟の3棟を擁し、指導スタッフも充実しています。校舎棟は東西2棟、第1体育館、第2体育館、柔剣道場、弓道場、野球グラウンド、陸上競技場、庭球コート2面、実習農場、演習林、温室、同窓会館(雁歌会館)、クラブハウス等をそろえています。

(2) 教育方針

本校では、総合学科の特色である多様な教科・科目の選択履修を通じた教育によって、地域の将来を託すにふさわしい「生きる知恵」にあふれた人材の育成を目指し、

(1)「自主」

自ら積極的に物事や学習に取り組む人間

(2)「自律」

自律的に社会生活をおくる人間

(3)「責任」

前向きで責任ある行動がとれる人間を目標としています。

何事よりも優先して、命を大切に「生命至上」をスローガンに、「挑戦する心

～Challenging Spilit～」と「互いを尊重しよう～Respect Each Other～」をモットーとして、日々の教育活動に励んでいます。

(3) 教育課程の特色

本校では、自分の進路に合わせた体系的な学習ができるよう農学・機械・福祉・情報の4系列を設け、それぞれ専門的な学習をすすめることができます。

農学系列では地域性を活かした農業生産や、それを活用した食品製造に関する知識と技術を身につけて自営者の育成・関連企業への就職や農業関係大学・専門学校への進学を目指します。

機械系列では、旋盤、溶接などの基本的な技術の習得、電気、制御、プログラミングなどのメカトロニクスについて学びます。また、地域企業との連携事業などを通して、職業人としての基礎的な力を身につけ、地域社会に貢献できる人材育成を目指します。

福祉系列では高齢社会に対応する、心身ともに健康で豊かな生活を支えるための知識と技術・態度を身につけます。また、福祉実習を通して総合的・実践的な能力を高め、福祉・家庭に関する分野への就職や進学を目指します。

情報系列では、変化の激しい現代社会において、それに対応できるビジネスに関する知識や技術を身につけ、ビジネスに従事するための資質や能力を養い、就職のほか、経済関係大学・短大への進学を目指します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

学校行事としては、対面式、体育祭、伊具高祭、芸術鑑賞会、修学旅行、予餞会などを実施しています。

部活動は全員加入制で、運動部・文化部ともに活発に活動しています。運動部は県大会で活躍する部も多く、野球部、弓道部、陸上競技部、卓球部、柔道部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、バドミントン部など多くの部活動が活発に活動しています。

特に、部員の減少により休部していた野球部は、令和6年度に活動が再開され、公式大会への出場も果たしました。

文化部も、書道部、美術部、写真部をはじめとして各種展示会等に出品しています。電気機械部や吹奏楽部、美術部、科学部、コンピュータ部、茶華手芸部も多彩な活動を行っています。

生徒会活動では「AMORE運動」(A・挨拶、M・身だしなみ、O・お掃除、R・ル

ール、E・エコライフ)を活動方針として掲げ、活動しています。また、頑張っている人を応援し、はじめある行動のできる生徒会を

目指しています。そして、全校生徒が安心して楽しく学校生活を送れるよう努めています。

◎進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	0	1	1
短期大学	1	0	3
専修各種学校	2	6	10
就職(県内)	29	41	43
就職(県外)	11	6	5
その他(縁故等)	1	3	0
卒業生計	44	57	62

◎進路先(令和7年3月卒業生)

()内は人数 ※(1)は省略

<専修各種学校>

福島学院大学短期大学部(保育学科)
仙台こども専門学校(こども総合学科)
東北電子専門学校(情報システム科)

<就職>

東北電力(株)
東北発電工業(株) ※電力G
東北ポートサービス(株) ※電力G
北日本電線(株) ※電力G
(株)トーキン (株)ホーチキ
アルプスアルパイン(株)角田工場 (3)
SWCC(株)仙台事業所
(株)IHI 相馬事業所
(株)IHI キャスティングス相馬工場
トヨタ自動車東日本(株) (2)
オリエンタルモーター(株)相馬事業所
(株)仙台村田製作所 東北特殊鋼(株)
日本製紙(株)岩沼工場
日立 Astemo(株) (4)
リコーインダストリー(株)本社事業所
福島太陽誘電(株)
コベルコ建機日本(株) (2)
アイリスオーヤマ(株)
(株)ジーエスエレクトリック東北
TOYO TIRE(株)仙台工場 (2)
日本梱包運輸倉庫(株)
(株)PALTAC 東北支社
(福)ウェルフェア仙台
仙南ジェロントピア
(福)はらから福祉会 (2)
(株)不二タイヤ
(株)日産サティオ
角田精工(株) (有)富樫運輸

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

<農学系列>

昨年度に引き続き今年度も丸森町大張沢尻の棚田において、本校 OB の大槻様の指導の下、米作りを体験しました。急斜面にある棚田での作業に悪戦苦闘しながら一生懸命取り組む姿からは、棚田を守りたい、後生に伝えていきたいという生徒たちの思いが感じられました。今後も食と農のオールラウンダーを目指して、少数精鋭で多種多様な活動に取り組み全人的な成長に繋げて行きたいと思っております。



<機械系列>

○ドローン出前授業

令和7年2月4日(火)、角田中学校にて課題研究でドローンを研究している3年生4名が出前授業を行いました。出前授業ではドローンをプログラムによって操作することや、コントローラを使った操作方法について授業を行いました。



○ゴミ集積所

令和7年2月7日(金)、機械系列3年次が地域貢献活動の一環として製作したゴミ集積所を柴田町に寄贈してきました。今回、寄贈にあたり3年生は新年度に向けた準備を行っているため参加せず、来年度、課題研究に取り組む2年次生徒3名が参加しました。地域住民の方から、今の地域の実情などを聞き、来年度製作する意欲を刺激されました。



<福祉系列>

福祉系列2年次の授業で、「ここからだのしくみと自立に向けた介護」と題して、実際に現場で活躍している医療法人金上仁友会の方々を講師としてお招きしました。講習会では、介護現場における食事・口腔ケア・衣服着脱について学びました。生徒達は、講師の先生の話に耳を傾け、真剣な眼差しで実習に取り組んでいました。



<情報系列>

情報系列では、10月19日(土)の伊具高祭で、3年次生が考案したランチメニュー“ねんねこオムライス”と“猫おにぎり”を販売しました。皆さんに美味しく食べて頂いて、本当に嬉しかったです！また、丸森産蜂蜜を使用したフレンチトースト(10月に石塚養蜂園から採蜜)を、12月に校内で販売し、大好評でした。



(2) 学校行事

<体育祭> (例年6月下旬開催)

令和6年6月27・28日に体育祭が行われました。フットサル、ドッジボール、バレーボール、バスケットボールの他に、リレー等の陸上競技5種目で、熱い戦いが繰り広げられました。どのクラスも、持てる力を出し切って、一生懸命頑張る姿が見られました。



<伊具高祭> (例年10月下旬開催)

テーマ「Be Real～青春をシェアしよう～」

令和6年10月18日(金)、19日(土)の2日間、伊具高祭が行われました。各部活動の展示やクラス展、吹奏楽部や有志のステージ発表等、大いに盛り上がりました。

農業系列で育てた野菜や米の販売、機械系列で作成したバーベキューコンロ、情報系列で開発したオムライスやおにぎりなどを販売し、来場者の方々から大好評でした。



<学習発表会>



令和7年1月16日(木)に学習発表会を実施しました。今年度1年間の各系列での課題学習の成果や、10月にクラスごとに実施した1年次の企業見学会、9月に全員が体験した2年次のインターンシップから学んだことなどを全校生徒の前で発表しました。どのグループもスライドの作成や発表の仕方に工夫を凝らしながら、聞いている人にとって分かりやすい発表をすることができました。これからも人とのつながり、地域とのつながりを大切にして課題解決型の学習を進めていきたいと思っております。

4 制服について

平成30年より、制服が刷新されました。令和4年度から、女子はスラックスとリボンを任意で購入し着用することができます。気温や自分の好みによって生徒自身が着たい制服を選んで着ることができます。

年々、女子のスラックス着用が増加傾向にあります。



制服(平成30年～)